

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2024 年 2 月 15 日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」寝屋川校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			パーティションや机の位置で配慮を行っている。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			新入社員が入社することで、配置数の調整を行っている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			利用者さんに合わせてその都度環境調整を行っている。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			定期的にミーティングを行い、目標の確認と振り返り、再度目標設定の確認を行っている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			評価表をもとに保護者の意向を確認し、振り返りの時間や面談等の中で意見をきくようにしている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			事業所内で評価表の周知を行い、評価・改善内容を集約し、ホームページにて公開する。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	現時点で行っていない。必要に応じて検討する。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			定期的に内部研修を行っている。今後、必要に応じて外部研修に参加できる機会を設けていく。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			定期的にアセスメントシートを利用し、モニタリング等で確認を行って計画の作成をしている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			内部で決まったアセスメントツールを利用している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			指導員間で連携を取り、支援プログラムの立案を行っている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			本人の状況に合わせ、プログラムが固定化しないように指導員間で情報共有を行いプログラムの立案をしている。必要に応じて、他校舎への支援見学を行い、プログラムをさらに工夫していけるようにする。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			本人の状況に合わせて、支援内容を設定している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別活動を中心にしながら、イベントなどの集団活動も取り入れて、計画を作成している。

	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			支援開始前に打合せを行い、役割分担などを確認している。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			職員間で支援や保護者との振り返りの中で気づいたことを共有している。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			支援記録を残し、次回以降の支援プログラムの検証・改善を行っている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			6か月ごとにモニタリング面談を行い、個別支援計画を見直している。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○			利用者のニーズに応じて、複数の活動を組み合わせて支援を行っている。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			子どもの状況に応じて、担当者会議への参加の調整を行っている。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			子どもの状況に応じて、電話やメールにて適宜学校と情報共有を行っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	該当者なし。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			必要に応じて、就学前に利用していた施設等と情報共有をしている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			子どもの進路の状況に応じて、就労移行支援事業所等へ情報提供を行っている。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			子どもの状況に応じて、連携をとっている。今後も積極的に連携を行い、研修等に参加できるようにしていく。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	現時点では交流の機会を設けられていないので、今後必要に応じて検討していく。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか			○	感染予防の観点から、今年度は参加できていないが、今後積極的に参加していく。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			振り返りの時間で支援の内容やご家庭・学校での様子の情報共有を行い、共通理解をもつようになっている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	保護者から相談があった場合に、本人とのかかわり方について提案をしている。
保護	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時や利用状況の確認等で説明を行っている。

者 へ の 説 明 責 任 等	⑳	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		振り返りの時間等で聞き取りを行い、必要に応じて、面談や相談の時間を設けている。
	㉑	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		必要に応じて、保護者どうしで連携が取れる機会を個別に設けている。今後、全体でママカフェ等開催できるようにしていく。
	㉒	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		苦情があった場合、子どもや保護者と面談を設定し事業所内で検討し対応の体制整備を行っている。
	㉓	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		ホームページやポスター等で行事予定や活動概要の発信をしている。今後、防災訓練等の活動概要についても発信していくようにする。
	㉔	個人情報に十分注意しているか	○		個人情報はずべて鍵付きのロッカーで管理している。利用がある時間帯に職員間で情報共有する際の声の大きさに気を付ける。
	㉕	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		子どもの特性に合わせて意思疎通や情報伝達をするようにしている。
非 常 時 等 の 対 応	㉖	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		事業所内のイベントに地域の方が参加されている。開かれた事業所を目指し、広報活動も丁寧に行っていく。
	㉗	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		マニュアルの作成と訓練を行っている。利用者への周知ができていないため、ホームページやポスター等で周知していく。
	㉘	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		毎月定期的に非常災害に備えた避難訓練を行っている。
	㉙	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		内部で虐待防止についての研修を行っている。
	㉚	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		事前に説明と確認を行ったうえで、個別支援計画書に記載している。
	㉛	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		アセスメントシートで定期的に確認を行っている。
	㉜	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハットの状況報告書を作成し、事業所内で共有している。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2024年 2月 15日

事業所名：こどもサポート教室「きりり」寝屋川校

保護者等数（児童数）：37名（44名）回収数：22部 割合：59.4%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	19	2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・いつも入口しかいないため、部屋の奥の状況が分からない。 ・声のモレがひどいときがある。他の利用者さんと職員とのコミュニケーションなのか、ライブの話などで盛り上がった時の声がすごいときがあって、そこは職員さんがそれとなくトーンを下げて欲しいところでしたが、職員さん自身が盛り上がっているものすごい大きい声で話していたのが残念だった。多分他の子は集中できないと思う。部屋の作り上、声が響きやすいことも気になっている。 ⇒支援スペースは必要に応じて確保しているが、待合スペースが狭くなっている。必要に応じて、支援見学も可能である。 ⇒他の利用者さんの支援でその子の状況に合わせて必要に応じて支援をしており、職員の声が大きくなることもあり、他の支援に影響する可能性のある内容は事前にご説明させていただく。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	23	4		⇒週6開所になり、職員の休みも安定している。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	11	7	2	⇒入り口や待合、職員室の狭さが目立つが、可能な限り療育スペースを確保させていただいている。 (未記入2名)
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ¹ が作成されているか	22			⇒アセスメントやモニタリング面談にてご要望をお伺いし、子どもの状況に応じて支援内容を組み立てている。
	⑤	活動プログラム ² が固定化しないよう工夫されているか	19	3		<ul style="list-style-type: none"> ・うちの子どもの特性と精神状態に合わせて現状固定化ですが、他生徒に関しては工夫されていると思います。 ・子どもにとって癒される場所になっています。 ⇒職員間で情報共有し、固定化しないように工夫している。

	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	9	8	<ul style="list-style-type: none"> ・入会したばかりで分からない。 ⇒現時点では機会は設けられていない。ニーズに応じて今後検討させていただく。 (未記入2名)
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	21	1		⇒契約の際に運営規程や利用者負担等についてご説明させていただいている。
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	21	1		<ul style="list-style-type: none"> ・母親が闘病中で教室に足を運べずにおらず直接話せていないが、手紙にして伝えてくださり助かっています。 ・電話くれて助かっています。 ⇒振り返りの時間で本人の状況について情報共有をさせていただいている。来所が難しい場合は電話やメールでも対応している。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	19	3		<ul style="list-style-type: none"> ・いつでもお話を聞いてくれるのでありがたい。 ⇒モニタリングや振り返りでお話を聞き、必要に応じて面談も設定させていただいている。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	7	11	2	<ul style="list-style-type: none"> ・入会したばかりで分からない。 ⇒去年度はママカフェを開催していたが、今年度は実施できていない。今後定期的に開催できるようにしていく。 (未記入2名)
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	17	5		<ul style="list-style-type: none"> ・「子どもや保護者に」の子どもへの周知・説明についてはよくわからない。 ⇒苦情があった場合に、必要に応じて子どもや保護者にご説明をさせていただいている。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	20	1		<ul style="list-style-type: none"> ・すごくしてくれている ・情報伝達のための配慮とは？ ⇒個々の状況や特性に応じてお話や情報伝達の際に配慮をさせていただいている。 (未記入1名)
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	11	8	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ポスター案内はしてくれているが、ラインは更新されていない。体制的にできないのかも。 ⇒ポスターのご案内がメインになっているため、今後ライン等他の発信方法も検討していきたい。 (未記入2名)
	⑭	個人情報に十分注意しているか	19	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・どの部屋も話が筒抜け。 ⇒個人情報鍵付きのロッカーで保管している。教室の構造上他の人の会話が聞こえることがあるので、状況に応じて配慮させていただく。 (未記入1名)

非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	14	5	2	⇒現時点では、マニュアルや実施した訓練の周知ができていない。今後掲示等でお知らせしていけるように検討する。 (未記入1名)
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	7	11	2	・入会したばかりで分からない。 ⇒⑮のとおり、お知らせができていないので、今後ブログや掲示等でお知らせできるように検討していきたい。 (未記入1名)
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	21	1		・1番癒される教室だそうです。こどもたちはよく「きらりに行きたい」と言っています。 ⇒通所が楽しみになるように、個々の状況に合わせて支援を工夫し対応させていただく。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	19	3		・母の体調が悪く、アセスメントシートの提出や日頃の子どもの状況をお伝えできていない中で、他ディや福祉との連携をとったり支援計画をたててくださいたりと、家族の負担を減らす気遣いは本当ありがたいです。 ・個人情報。こどもは楽しそう。 ⇒アセスメントと聞き取り、本人の状況を踏まえて支援内容を組み立てている。

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。